

11月22日「いい夫婦の日」。夫婦の幸せは何点？

パートナーエージェント×博報堂 “結婚の幸福度”を測る指数

『QOM』（Quality Of Marriage）を発表！

－ 博報堂研究開発局が全面協力し、現代の結婚観を反映した指数を開発 －

さらに、『QOM』の基盤となる3,600名から収集した調査結果も同時に発表

- ・バツイチに朗報！失敗は成功のもと (!?)、バツイチ以上の方が『QOM』が高い結果に
- ・「憧れのマイホーム」も今は昔。「持ち家」よりも「賃貸」暮らしへの移行がオススメ!?
- ・裸で歩きまわることや、オナラにも夫婦の幸せのヒントが！

婚活支援サービスのパートナーエージェント（本社：東京都品川区、代表取締役：佐藤 茂）は、11月22日（いい夫婦の日）に、“結婚の幸福度”を客観的に測定し、数値化する指数『QOM（Quality of Marriage）』を発表します。さらに、『QOM』の指数をはじき出すための基盤となる、3,600名に実施した大規模調査の結果も同時に発表し、日本全国にわたる各家庭での結婚生活の知られざる実態に迫りました。

■『QOM』について

『QOM』とは、「Quality of Marriage」を略したもので、結婚生活における夫婦それぞれの幸福度を数値化するために開発されました。

近年、ブータンのGNH（国民総幸福度指数）やフランス・イギリスなど様々な国で幸せを数値化する試みが行われていますが、『QOM』は現代の日本人の結婚観を反映し、“結婚の幸福度”の数値化を試みた世界でもユニークな指数です。20歳～69歳までの夫婦3,600人の定量調査を元に、結婚生活の幸福度と相関性が高い要素を選んでいくことで開発されました。「自己PR力」「観察力」「ケンカ力」「仲良し力」「境界力」「過去未来力」の6つのカテゴリーからなる全80問の設問に答えることにより、現在の結婚の幸せが1,000点満点で数値化されます。また指数の開発にあたっては、“生活者発想”でマーケティングソリューションを提供する博報堂研究開発局が全面的にサポートし、“結婚の本質的な価値”を捉えた指数を導き出す土台を構築しました。

今回の『QOM』開発にあたり、調査にご協力頂いた方々から「（QOMの測定を通し）改めて夫に対する愛情や感謝を考える機会になった」等のご意見を頂いたことから、より多くの皆様に結婚生活を客観的に見直し、高まる日本の離婚率に歯止めをかけられる機会をご提供させて頂きたく、11月19日（火）より、パートナーエージェントの「QOM診断サイト」で実際に『QOM』を測定できるオンラインサービスを開始します*。

（<http://www.qom.jp>）※会員様以外の方もご自由に体験頂けます。

【『QOM』設問例】

- ・あなたのパートナーは、自分の笑いのツボを知っていますか？
- ・パートナーにやめてほしいことを言えますか？
- ・パートナーがいないときに、のろけ話をしますか？ etc...



■調査結果について

『QOM』の開発には、「既存研究の共有」→「視点の網羅」→「仮説の集約」→「検証と指数化」の、4つのステップを踏むことにより指数化を実現しました。このなかでも“結婚の幸福因子仮説（仮説の集約）”を検証するために行った国勢調査2010に基づく3,600名を対象とした定量調査の結果は、「QOM（結婚の幸福度）が高いほど、パートナーが室内で裸で歩くことや自分の前でオナラをすることへの抵抗が低い」ことなどが分かり、本調査結果が指数化の定義付けへの礎となるとともに、各家庭の結婚生活におけるリアルな傾向を明示する結果となりました。

【調査結果例】

- ・バツイチに朗報！失敗は成功のもと (!?)、バツイチ以上の方が『QOM』が高い結果に
- ・「憧れのマイホーム」も今は昔。「持ち家」よりも「賃貸」暮らしへの移行がオススメ!?
- ・東京都 vs 大阪府。“結婚の幸福度”は大阪府に軍配
- ・裸で歩きまわることや、オナラにも夫婦の幸せのヒントが！ etc...

STEP0

既存研究の共有

博報堂の既存研究【楽差社会】を共有。

STEP1

視点の網羅

20代～60代
既婚者全160名を対象に
自由回答を中心とする
定性調査を
WEB上で実施。

STEP2

仮説の集約

パートナーエージェントの知見ノウハウ及び、博報堂研究「楽差社会」の観点から、結婚の幸福因子仮説を構築。

STEP3

検証と指数化

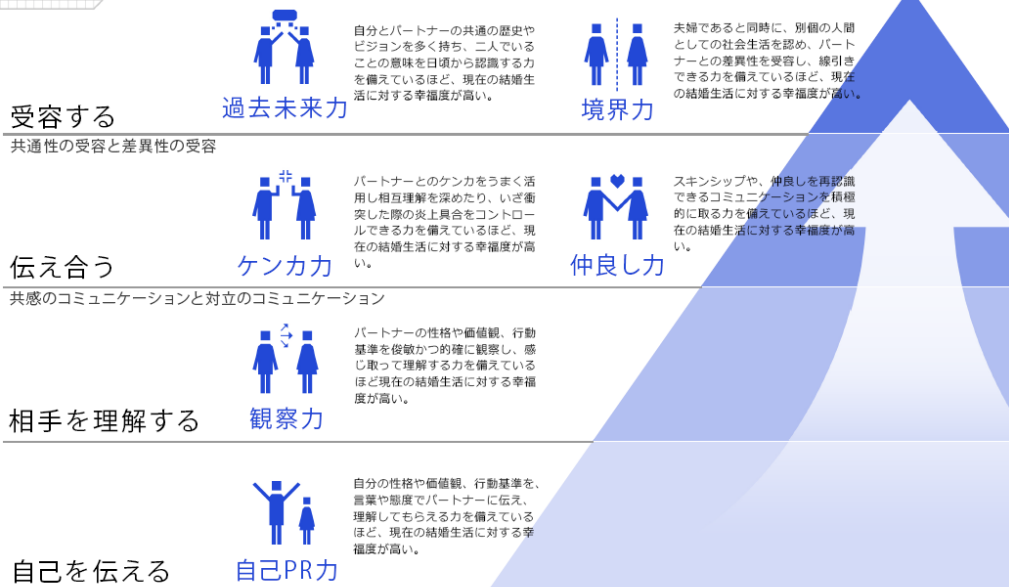
20代～60代
既婚者全3600名を対象に、
定量調査を実施。
仮説の検証と、
指数化を実施。

【『QOM』 概念説明】

『QOM』とは、「Quality of Marriage」の略。結婚生活に対する幸せの質を数値化したもの。夫婦間の相性ではなく、各個人が今の結婚生活にどの程度幸福感を感じているかを指標化。「自己PR力」「観察力」「仲良し力」「ケンカ力」「過去未来力」「境界力」という結婚の幸福に大きく影響する6つのカテゴリに属する80問の設問に答えることで、1,000点を満点としたQOMスコアを算出。



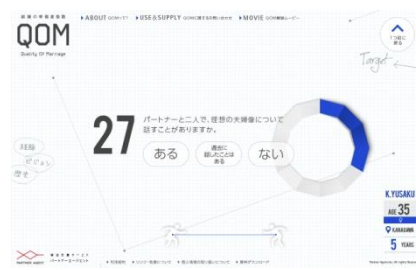
『QOM』を構成する6つの力



【『QOM』 診断サイトについて】



【80問のQOMの設問に回答】



【最後にQOMの点数と6つの力の観点からの分析レーダーチャートが出現】



<http://www.qom.jp>

* 11月19日 (火) よりオープン

<『QOM』 開発の経緯>

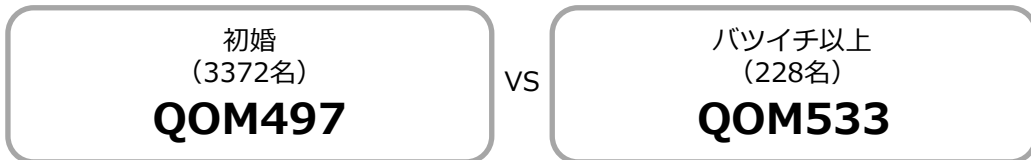
パートナーエージェントは、これまで「婚活のPDCAサイクル」や「EQアセスメントをもちいた価値観マッチング」などの手法で、結婚生活のパートナーを選ぶための科学的な手法を開発してきました。それらを活用することで、高い水準の成婚率（出会いから結婚に至るまでの確率）を誇っています。しかし結婚は新しい生活の始まりでもあり、出会いにとどまらず、結婚後の生活を見据えた結婚の質を高めるサービスをトータルでサポートするために、現代における結婚の本質的な価値や要素がどこにあるのかを捉える必要がありました。一方で、「生活者発想」を標榜する博報堂では、生活者の意識や行動に関するさまざまな研究を行っています。その中に、これからは経済力でなく個人の「楽しむ力」が生活満足度と相関する、という新しい社会の到来について考察した【楽差社会】研究があります。この研究はこれからの「結婚の本質的な価値」を捉えるためにまさしく有効なものであり、今回博報堂からこの研究成果の提供を受けて『QOM』開発に至りました。

【調査結果】 ※一部抜粋。

● バツイチの人に朗報。バツイチ以上の方がQOMが高い。

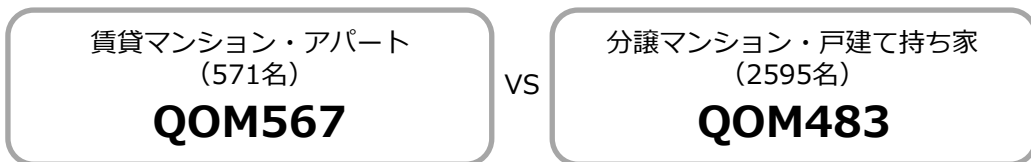
失敗の結婚経験を経て、6つの力が全体的に向上し、QOMを底上げしているようです。

	横%	QOM	自己PR力	観察力	仲良し力	ケンカ力	境界力	過去未来力
全体	3600	500	107	69	115	68	70	70
自分がバツ1以上	228	533	114	76	126	72	73	72
自分が初婚	3372	497	107	69	115	68	70	70



● 「持ち家」よりも「賃貸」暮らしの方がQOMが高い。

マイホームが幸せな家庭の象徴だった時代も、終わりを迎えているようです。家族の変化によって住み替える方が、結婚生活においては、パートナーとの将来を見据えたり、共に変化を楽しむイベントごとになっているのかもしれませんが。



● “裸”も“オナラ”も許すべし。

QOMが最も低いDランクの人は、その半数近くがパートナーの裸やオナラに寛容ではありません。一方で、QOMが最も高いAランクの人で、裸やオナラを許せない人は2割強と低い結果です。かといって、パートナーの目の前でオナラすることに抵抗がなくなっても、QOMには影響しないようなので、あくまでもパートナーの裸やオナラを許すことが大事、ということです。

パート	パート	パート	パート
ナーの前で、室内を裸で歩きまわること	ナーが自分の前で、室内を裸で歩きまわること	ナーの前でオナラをすることに抵抗がある	ナーが自分の前で、オナラをすることに抵抗がある

	3600	39.3	35.9	39.3	34.6
全体	3600	39.3	35.9	39.3	34.6
QOM Aランク	667	32.7	26.4	36.1	26.4
QOM Bランク	1189	39.8	33.3	39.4	32.7
QOM Cランク	1045	39.1	37.4	38.7	35.9
QOM Dランク	699	44.9	47.1	42.9	43.5

● 東京都 vs 大阪府は、大阪府に軍配。

100サンプル以上（人口ベスト10）で比較すると、1位は大阪府、2位は福岡県、3位が東京都になりました。

ちなみにサンプル過小で参考値にはなりませんが、鳥取県がQOMナンバー1都道府県に君臨。最下位は、岐阜県でした。

順位	都道府県	サンプル数	QOM
1位	鳥取県	20	586
2位	鹿児島県	27	570
3位	山梨県	27	559
4位	沖縄県	19	556
5位	宮崎県	25	537
6位	大阪府	① 238	533
7位	滋賀県	36	533
8位	栃木県	41	529
9位	宮城県	61	527
10位	岩手県	29	525
11位	福岡県	② 201	523
12位	東京都	③ 436	518
13位	熊本県	42	511
14位	北海道	216	508
15位	新潟県	65	505
16位	福島県	40	505
17位	和歌山県	28	504
18位	群馬県	29	502
19位	神奈川県	269	502
20位	広島県	78	499
21位	佐賀県	16	497
22位	秋田県	23	497
23位	三重県	60	496
24位	愛知県	257	495
25位	徳島県	20	494
26位	兵庫県	156	491
27位	長崎県	35	491
28位	京都府	70	490
29位	千葉県	170	488
30位	香川県	28	483
	静岡県	100	483
	大分県	31	483
	埼玉県	181	481
	愛媛県	45	478
	青森県	30	477
	茨城県	62	477
	山口県	36	476
	島根県	17	471
	岡山県	64	465
	奈良県	55	457
	高知県	18	455
	石川県	27	453
	山形県	22	444
	長野県	50	441
	福井県	16	420
	富山県	30	402
	岐阜県	54	400

2013 Partner Agent, Inc. All rights Reserved.

＜本件に関する報道関係者からのお問合せ先＞

株式会社パートナーエージェント 広報担当：松崎

TEL.03-6388-9831 FAX.03-5759-2701 Webサイト：<http://www.p-a.jp>